

「RSウイルス感染症」の増加について

RSウイルス感染症は、小児科定点把握の5類感染症です。和歌山市感染症発生動向調査では本年4月中旬から増加傾向が見られ、第20週では和歌山市の定点当たりの報告数が5.89人となり、例年の同時期に比べ過去10年で最も多い報告数となっています。また、県の定点当たり報告数も6.13人と全国平均値を大きく上回っています。

現在、全国的にも大きな値で推移しています。特に西日本で報告数の増加が顕著な状況です。

【第20週RSウイルス感染症の定点報告数上位5位の都道府県】

	都道府県	定点当たり報告数(人)
1	和歌山県 (和歌山市)	6.13 (5.89)
2	山口県	4.56
3	福井県	4.08
4	奈良県	3.79
5	大阪府	3.73
	全国平均	1.56

和歌山市における過去10年の報告数の推移では、例年8月頃から12月頃までの時期の流行が多く見られましたが、直近3年間では、2020年は流行がなく、2021年は早いピーク(7月中旬)と大きな流行が見られました。2022年については、6月下旬頃から増加し10月中旬頃まで長い期間の流行が続きました。新型コロナウイルスの流行以降、RSウイルスの流行時期、規模の変化が見られます。

今年については、2021年よりもさらに早い時期から報告数の増加が見られ、大きな流行となる可能性もあります。集団発生の報告も受けていますので、今後の発生動向に注意してください。

【和歌山市におけるRSウイルス感染症の定点報告数】

